

2026年度 大学院入学試験問題【Ⅱ期】

国際日本学研究科 国際日本学専攻 (博士前期課程)

科目： 小論文 【ポップカルチャー研究領域】

- 注意 1) 解答用紙は、指定された用紙を使用しなさい。その際、問題番号を明記すること。
(例 I、II)
- 注意 2) 希望指導教員の所属する研究領域の問題を解答すること。
- 注意 3) 解答は日本語で行うこと。

次の2題のうち1題を選択して、論述しなさい。(字数の制限はありません。)

- I. 「ガンダム」のテレビシリーズの中では、2022年放映開始の『機動戦士ガンダム 水星の魔女』が、女性を主人公とする初の作品となった。ただし、日本のアニメ全般を見渡すと、女性キャラクターがロボットに搭乗して戦闘に参加する一員となる作品は1970年代には現れており、1980年代には女性主人公がロボットに乗って活躍する作品も現れている。日本のアニメの中で、女性がロボットに搭乗して活躍する作品群について、1970年代以降、年代ごとに代表的な作品名を挙げながら、搭乗する女性キャラクターのポジションや描かれ方を中心に、作品の年代やターゲット層、収益モデル等による傾向の違いについて論じなさい。
- II. 日本のマンガやアニメには、警官を主人公とする作品のほか、主人公である怪盗や探偵のライバル役や相方、近所の派出所のお巡りさん、さらには近未来の架空の公安組織のメンバーまで、レギュラーキャラクターに警察や公安組織の一員を含んだ作品が散見される。日本のマンガやアニメに描かれる警察や公安組織のキャラクターについて、1960年代以降、年代ごとに主要な作品名やキャラクター名を挙げながら、複数作品にまたがって見出される類型や、時代ごとの描かれ方の傾向を論じなさい。